

そうだ、きさいち植物園に行こう！

Let's go to Kisaichi Botanical Garden



12月 ~ 1月



ビワ

- 四国、九州の石灰岩地帯に野生があり、通常果樹として広く栽培
- 常緑性のバラ科の高木
- 冬の初めに芳香のある白い花を密に開く

1月



ルスクス ヒポフィルム

- ナギイカダの仲間マディラ諸島(ポルトガル)からコーカサスにかけて分布
- 葉は退化して、扁平した茎の上に花を咲かせる

1月 ~ 2月



ウメ・寒紅

- 花は紅色で、一重または八重咲きの中輪
- バラ科で早咲き品種
- 正月用の盆栽や庭木などに使われる

12月 ~ 2月



カンツバキ

- サザンカとツバキの交雑種やサザンカの園芸種といわれる常緑小高木
- 花は桃紅色の八重咲で花弁は14~18枚
- 12~2月に開花する遅咲き品種

※気象状況により開花時期は前後します。現在の開花状況は植物園までお問い合わせください。

まもろう 絶滅危惧種

このコーナーでは、当園が保全活動を行っている絶滅危惧植物を紹介します。

高
↑
絶滅リスク

ヒメムカゴシダ [環境省カテゴリー / 絶滅危惧IB類(EN)]

オオフジシダと過去に日本に生育していたと推測されるオオフジシダ属の一種との雑種であると推測されています。全国的に自生地が限定されており、シカの食害や森林伐採などで個体数が減少しています。孢子では繁殖せず、葉の表の中軸上にできた無性芽(ムカゴ)が地面に着いて発根し、新しい株となります。



第3回 かたの市民デー

交野市民のみなさんを無料でご招待します。
(駐車料金、入園料無料)

とき 2/20(月)9:30 ~ 16:30 (16:00最終入園)
持ち物 住所が記載された公的証明書(マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証等)
※今後の感染状況や気象状況により中止の可能性があります。
※交野市外にお住まいの方はご入園いただけません。

大阪公立大学附属植物園(愛称:きさいち植物園)

- ☎ 891-2059 ● 交野市私市2000(私市駅徒歩6分) ● HP <https://www.omu.ac.jp/bg/>
- 開園時間 9:30 ~ 16:30(入園は16:00まで) ● 休園日 月曜日(祝休日の場合は開園)
- 入園料 大人350円/大阪府在住で65歳以上の人150円(住所と年齢が分かる公的証明書提示が必要)中学生以下無料 ● 駐車料 普通車500円/マイクロ1,000円



古いフィルムから From old film

たこあげ大会(昭和51年1月撮影)



今でも正月あたりには、ちらほらとたこ揚げ姿を見かけることがあります。しかし、大勢の子どもが、稲を刈り取った後の田んぼで、手作りと思われるたこを揚げる姿、となると、もはや絶滅した風景と言っても過言ではありません。

牛(昭和47年撮影)



昔は家で牛を飼っていたという話を時々聞きますが、まさか、天野川の中州でも飼育していたとは思いませんでした。右後ろに写る梅が枝団地との対比が、のんびりとした時間の流れを余計に感じさせます。

※当時の広報紙がモノクロ印刷であったため、カラーフィルム普及後も多くの写真がモノクロで撮影されています。
※写真のコメントは、フィルムについていたメモや伝聞に基づいていますので、必ずしも正確な情報ではないことをご了承ください。
なお、掲載した写真について詳細をご存じの場合は、ご連絡いただくと幸いです。